

企画・監修

服部 健司

制作委員会

阿部 純絵

伊東 隆雄

権 卜揆

清水 真央

蔡 甫昌

澤田 悠輔

徳永 純

西川 祐司

服部 健司

原 敬

宮城 昌子

四方田陸人

制作協力

白浜 雅司

竹吉 泉

茂原 淳

撮影協力

天沼 誠

武居 明美

二渡 玉江

群馬大学医学部保健学科

群馬大学総合情報メディアセンター図書館医学分館

財団法人 同愛会

株式会社 ニューたじま

製作

群馬大学医学部医学科

ケース原案 脚本

杉本 悠子

群馬大学大学院医学系研究科医学哲学・倫理学 教授

群馬大学医学部医学科 学生

新所沢清和病院精神科 医師 群馬大学医学部 非常勤講師

梨花女子大學校醫科大學醫學教育學 副教授

群馬大学医学部医学科 学生

國立臺灣大學醫學院醫學系社會醫學科 副教授

群馬大学医学部医学科 学生

新潟大学附属研究所神経内科 医師 群馬大学医学部 非常勤講師

秋田大学医学部病理病態医学 准教授 群馬大学医学部 非常勤講師

群馬大学大学院医学系研究科医学哲学・倫理学 教授

利根中央病院外科・緩和ケア診療科 医長 群馬大学医学部 非常勤講師

東京都立豊島病院 医師

群馬大学医学部学務課医学科教務係 係長

※役職は制作当時のものです

本格的ケーススタディドラマ第3弾

息子と父の答えのない物語

有坂重人の父、秀雄は(81)は、脳卒中後、施設で生活している。風邪をこじらせ肺炎を起こし入院した先で、数年前に見つかっていた胸部大動脈瘤が急速に拡大しているのが分かった。年齢や全身状態からみて手術は勧められないという外科医の判断を受け、内科の主治医・関口雅彦は重人に血圧をコントロールして経過を見ていこうと提案したのだが……。

望ましい医療のあり方について多角的に考えるための本邦初の本格的ケーススタディ・ドラマシリーズ第3巻。患者当人のあざくり知らぬところ、医学的適応に従い治療方針が決定されていく過程で、家族の思いは交錯し、まとまりがつかない。医療者は、家族はどうすればよいのか? (約26分)

制作プロダクション:ユニファイ・オープンアイズ

監督:越坂 康史

撮影:深江 岳彦 VE:鈴木 研二 照明:山道 良二 録音:笠原 晋

メイク:佐藤ひろこ 制作:高原 一 助監督:山下 将臣

編集:バナソニック映像・オープンアイズ MA:バナソニック映像

特機:映像サービス 照明機材: LSC

キャスト

有坂重人: 大成 修司

関口雅彦: 上杉 陽一

有坂久美: 西山 水木

有坂由希: 関谷 彩花

石川隆治: 石田 晃一

有坂秀雄: 服部 光佑

医学生: 安江 常郎

黒川 達志

服部 容子

安藤美瑛 (声):伊藤こうこ

コピーガード仕様

医療倫理ケーススタディ 第3巻

経過観察

MIC



医療倫理 ケーススタディ 第3巻



経過観察

本作品は、文部科学省「特色ある大学教育支援プログラム」に選定された群馬大学医学部医学科「良医養成のための体験的・実践的専門前教育」への支援経費（補助金）により制作されました。

このビデオソフトは授業などの教育現場の限定された場所での視聴を目的として制作されています。従って無